



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社T&K TOKA
 コード番号 4636 URL <https://www.tk-toka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 至克
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 北條 実 (TEL) 03-3963-0511
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,111	△14.8	△12	—	△167	—	5	△97.5
2020年3月期第1四半期	11,873	△3.6	226	△16.4	310	△20.7	221	△38.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △583百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 257百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.24	0.24
2020年3月期第1四半期	9.41	9.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	65,821	41,249	62.0
2020年3月期	67,950	42,957	62.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,823百万円 2020年3月期 42,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	5.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 現時点において2021年3月期期末の1株当たり配当金については未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,100	△15.7	0	△100.0	170	△68.6	170	△55.3	7.39
通期	41,030	△14.9	0	△100.0	320	△75.3	200	26.2	8.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	25,055,440株	2020年3月期	25,055,440株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,550,105株	2020年3月期	1,550,105株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	23,005,335株	2020年3月期1Q	23,505,335株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、わが国経済は新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。緊急事態宣言の解除に伴い個人消費は持ち直しの動きがみられております。また、アジア地域におきましては、中国では景気は厳しい状況にあるものの持ち直しの動きが続いておりますが、その他アジア地域においては景気は厳しい状況にあります。ヨーロッパ地域においては、景気は極めて厳しい状況ですが、下げ止まりつつあります。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は出版印刷および商業印刷に大きく及んでおり、日本においては特に折込チラシの大幅な減少が見られました。パッケージ印刷については内需向け食品や医薬品関連の需要は堅調に推移しました。

特殊UVインキに関連する液晶ディスプレイ関連市場におきましては、パネル需要は在宅勤務の拡大によるビジネス需要の増加や、また各国政府による給付金の後押しもあり外出自粛により需要の増加したテレビ販売が復調したことで、堅調に推移しました。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT&K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、101億11百万円（前年同期比14.8%減）となりました。利益面におきましては、営業損失は12百万円（前年は営業利益226百万円）、経常損失は1億67百万円（前年は経常利益3億10百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円（前年同期比97.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引消去前の金額によっております。

(印刷インキ)

出版物および折込チラシ等が大幅に減少し、平版インキ及びUVインキの販売が減少したことにより、売上高は101億9百万円（前年同期比14.8%減）となりました。また、販売費及び一般管理費は減少したものの、売上高減少の影響によりセグメント損失（営業損失）は18百万円（前年はセグメント利益（営業利益）2億22百万円）となりました。

② その他

売上高は12百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益（営業利益）は3百万円（前年同期比115.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて21億28百万円減少し、658億21百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて、原材料及び貯蔵品が45百万円、商品及び製品が1億93百万円増加したものの、現金及び預金が4億38百万円、受取手形及び売掛金が15億29百万円、有形固定資産が3億37百万円減少したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて4億20百万円減少し、245億72百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて短期借入金が8億42百万円、流動負債（その他）が6億32百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が7億91百万円、電子記録債務が2億84百万円、未払法人税等が1億83百万円、賞与引当金が3億23百万円、長期借入金が2億68百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて17億8百万円減少し、412億49百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて自己株式が7億15百万円増加し、利益剰余金が3億94百万円、為替換算調整勘定が6億48百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。

また、2021年3月期の配当予想につきましても、あわせて公表することといたしました。
詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,537	9,098
受取手形及び売掛金	13,763	12,233
電子記録債権	1,930	1,970
商品及び製品	5,154	5,348
仕掛品	480	420
原材料及び貯蔵品	2,391	2,437
その他	571	528
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	33,814	32,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,999	23,710
機械装置及び運搬具	20,719	20,390
土地	7,138	7,084
その他	7,405	6,654
減価償却累計額	△34,258	△34,173
有形固定資産合計	24,004	23,667
無形固定資産		
のれん	100	92
その他	253	253
無形固定資産合計	353	346
投資その他の資産		
投資有価証券	8,991	9,036
退職給付に係る資産	115	146
その他	685	616
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	9,777	9,783
固定資産合計	34,135	33,796
資産合計	67,950	65,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,276	6,485
電子記録債務	4,056	3,771
短期借入金	4,353	5,196
1年内返済予定の長期借入金	1,072	1,072
未払法人税等	247	64
賞与引当金	647	323
役員賞与引当金	14	12
その他	1,323	1,955
流動負債合計	18,991	18,881
固定負債		
長期借入金	4,038	3,770
退職給付に係る負債	707	692
その他の引当金	34	35
資産除去債務	109	109
その他	1,111	1,083
固定負債合計	6,001	5,691
負債合計	24,993	24,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,080	2,080
資本剰余金	2,079	2,079
利益剰余金	41,668	41,274
自己株式	△1,383	△2,098
株主資本合計	44,444	43,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	358	474
為替換算調整勘定	△1,929	△2,578
退職給付に係る調整累計額	△430	△408
その他の包括利益累計額合計	△2,001	△2,512
新株予約権	156	161
非支配株主持分	358	264
純資産合計	42,957	41,249
負債純資産合計	67,950	65,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	11,873	10,111
売上原価	9,630	8,225
売上総利益	2,243	1,885
販売費及び一般管理費	2,017	1,898
営業利益又は営業損失(△)	226	△12
営業外収益		
受取利息	21	14
受取配当金	18	19
持分法による投資利益	110	72
金利スワップ評価益	0	0
その他	5	3
営業外収益合計	155	110
営業外費用		
支払利息	11	14
為替差損	56	247
その他	2	3
営業外費用合計	71	265
経常利益又は経常損失(△)	310	△167
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	67	—
投資有価証券売却益	—	26
国庫補助金	26	91
特別利益合計	95	117
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	3
その他	1	0
特別損失合計	1	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	404	△54
法人税等	160	△31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	243	△23
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	221	5

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	243	△23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	115
為替換算調整勘定	△22	△533
退職給付に係る調整額	16	24
持分法適用会社に対する持分相当額	88	△166
その他の包括利益合計	14	△560
四半期包括利益	257	△583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229	△505
非支配株主に係る四半期包括利益	28	△77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行っております。

この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が715百万円増加し、当該自己株式の取得により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,098百万円となっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の拡大により、外出自粛傾向が続いており、印刷インキの需要先である印刷業界におきまして、出版印刷および商業印刷に影響が及んでいるため、売上高の減少等、当第1四半期連結累計期間以降の当社グループ業績への影響が見込まれます。

当社グループにおきましては、本感染症は経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、それが当社グループに及ぼす影響及び本感染症の収束時期を合理的に予測することは困難であるものの、2021年3月末まで本感染症の影響が続くという仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性の検討等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の収束時期は不透明であり、上記の仮定に状況の変化が生じた場合は固定資産の減損損失及び繰延税金資産の取崩しが追加で発生する可能性があります。

(重要な後発事象)

(特定子会社の解散及び清算)

2020年7月22日開催の取締役会において、当社の特定子会社である東華油墨国際（香港）有限公司を解散し、清算することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

当社では、東南アジア地域において競合状況などの市場環境と将来予測に基づいて事業の最適化を検討しており、当該地域の事業を当社および他の連結子会社に移管し、東華油墨国際（香港）有限公司を解散し、清算することといたしました。

2. 解散及び清算する特定子会社の概要

(1)名称	東華油墨国際（香港）有限公司
(2)所在地	Room 510 Tower 1 Silvercord, 30 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong
(3)代表者の役職・氏名	董事長 栗本 隆一
(4)事業の内容	各種印刷用インキの製造販売
(5)資本金	61,637千香港ドル
(6)設立年月	1985年10月
(7)大株主及び持株比率	株式会社T & K TOKA 100%
(8)当該会社の財政状態	
総資産	152,721千香港ドル (2,148百万円)
総負債	14,133千香港ドル (198百万円)

3. 解散及び清算の日程

現地の法律に従い必要な手続きが完了次第、清算終了となる予定であります。具体的な日程は現時点において未定であります。

4. 今後の見通し

本件による2021年3月期の連結業績に与える影響は現在精査中です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	11,871	1	11,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9	9
計	11,871	10	11,882
セグメント利益	222	1	224

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	222
「その他」の区分の利益	1
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	226

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	印刷インキ		
売上高			
外部顧客への売上高	10,109	1	10,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10
計	10,109	12	10,122
セグメント利益又は損失(△)	△18	3	△14

(注) 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種産業廃棄物の焼却処理及び生命・損害保険代理業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△18
「その他」の区分の利益	3
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業損失	△12

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	印刷インキ	その他	合計
減損損失	3	—	3